新編金瓶梅第四集

上帙

へ13
3223
2

よ　このえんへんきんぺいなの　なんでん
予が這新編金瓶梅の原傳る唐山の稗史金瓶梅ふ後人の
ろうそよ　こんせきぶんくれんそうかのぜでん
一書あり名けく三世歡隔簾花影とふ作者の名姓を曼者せざれば何人の
こでおきぶんこー　ちよ
るを知らず但四橋居士の序あるのみその書四十八回西門啓が身後の事
めくう　そのつね　と　つんな　ひあせんま
悪報の其妻その子が輪回と百折千磨の艱苦を喫り最後ふ鮮脱の一編を終尾
けごくさあや　むまくくそのかのぜでん　のうをせのんけい　そうんこんこと　あうまつ　むん
とふ蓋作者の意匠彼前傳一百回ゆ西門啓が一世の荒淫驕れる形勢を旨と
ろんそこうそうぜんくれんそうそのあ　もあ
綴りく因果応報の段尚淺るふあの故ふ後傳隔簾花影ふ他が生前の為体い
つまびらそうせつりゃく　ごとうそ　ほぼ　ようそう
僅數約ふ省略と身後の業果を詳ふ積不善の家ゆ餘殃ある天理を茲ふ
とえあり　ぶんしょう　そうんちょう　ぜんきょうきそう　ぐくさいあん　そのつね　せのんけい　えんきょうきそう　つまごげつぢょう
鮮彰ふ勧懲と多るふ抑件の冊子ゆ西門啓と南宮吉とその妻呉月娘を
そうんおきょう　てそう　けいそう
楚雲娘とその子孝哥と慧哥とふ
名い異ふれどもその人の相同ど一帙都て八冊あり今此間ふ稀る者尤珍書とふべーあれ

ども前傳の荒淫奸詐を厭ふそ專因果業報の道理を宗と示すをもて一部の趣向を
ぜんでん　こうそうのうんそ　いまーめ　もさくくん　ぶせつ　ぶんこのさうー　もあ　こうえ　る　もえそ
あり多ら華やる克絶て无く亦巧ふ布置せり這新編
きんべいなの　きんぺいなの　ろうけんでんきんべいなの　ぶせつ
金瓶梅ふ金瓶花影両傳の趣ふ憑るふ
おんと　ろうけんでんきんべいなの　ぶせつ
叙ふのべるが如く且原傳金瓶梅ゆ武松が事ふ水滸ふ譲りて省略せり這新集の自
ふ　とうぶこのさうー　と　もとと　せうりゃく　みずかん　ゆ
因て五冊子ゆ武松ふ擬ふ武二郎が本末と具ふて善悪天理彰然る鑑誡の一端
よ　あのぜんでんおあよ　を　ぜんあくてんりせうぜん　いまーめ　そこ
とも世ふ彼原傳二書と見て後ふ是書を閲る者ゆ予が言ふ俟ずそ是等の差別を知
とそ　つぶいれ　こと　おれ　まさ　よ　こと　ひとよ　これら　けをひと
るもあん去歳ふ五冊庵克のヨくて仲冬よりふの四集の為ふ日ふ研を磨りが深く思ひを
まーふ　きょねん　ごさつあんこくまちそう　ちゅうとう　ひ　ふか　おも
旋らまよ這ふも毛況本集の趣向ゆ五集六集の襯染よ終れるも是ふ多るまあらねば尚幾十
めぐ　いとま　まこのまちく　まちそう　こと　これ　おお　まつづ　なおいくじゅう
巻の後々まで閲る隨ふ鮮分られて看官ゆく佳境ふ入る歟ー
まく　のちのち　けみ　したがう　あきらか　みるひと　うきょう　い　か

天保七年春正月吉日續出新板　物の本ん作者　馬琴みつる序ス

明らかなること
鏡のごとく
清きこと
水に似たり
蕪子花
鏡が
池の
服紗のれ

鳥屋尾
前司
元忠

野口小蘋

宍市

身の是處女にて
文あり武あり並頭誰か欲
る粧ひ芙蓉あに正に是
池水の藍より生て
婆ヨメ

楠一味斎之女児 千早

楠が妻 樹石

親の權と笠着ふ
おく病登りつめる
恋の山顔も
耳ぬ巳惚の日
本一の阿放の鏡
馬鹿ふけ込る茶
壱貫と二ふく對る
おとゝゐは是

岡穂植る
山のおやぢ狄
馬糞鷹

半閑

萬病丸

斧形曳水

書てまーす
舩舘苫四郎
遠景

蟇の網ふれる
駒下駄繋
ぐもつのこと
かごれと二路りけー
てれんてんご
ひとよ
を煉る管ふ一夜さの
ゆめ
夢の浮橋そるそれが

岩坂
苫六知義

浮世袋屋
蓋道

ナるちやほあゝの
客やぬくめる

亭

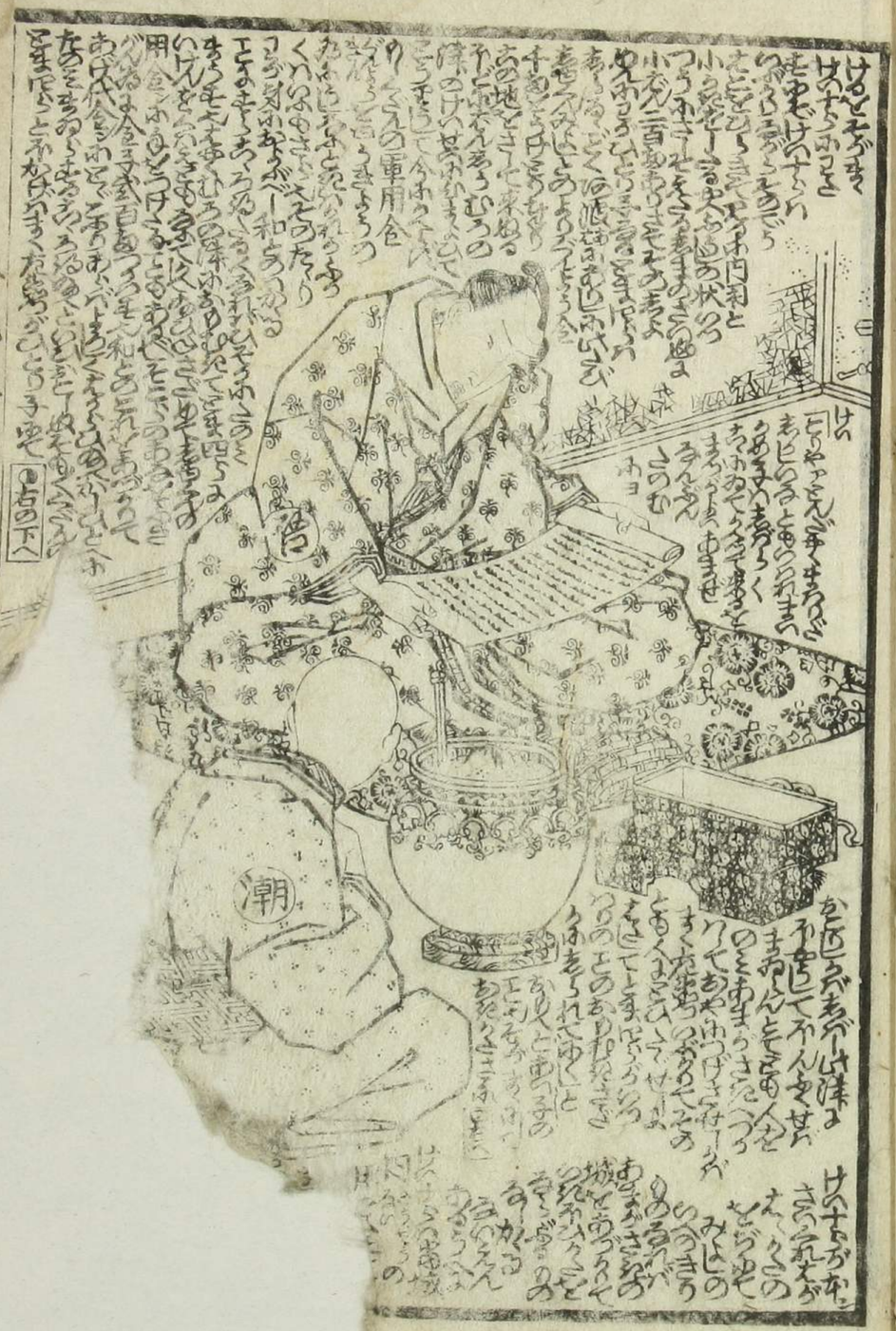
淡路嶋を直下あえて
須磨の関取と
呼ぶも憎き
むべ一邦
智も武も
万人の敵

義経
義をたて勇めど
力士の負をうけ
恋の磯うつ波の岩をも
砕く景をあの
洗きれの海苔の
まづくや淡路嶋

非義
非道欤
ちかみち
を那
の
果や
仁王
のちから
帝

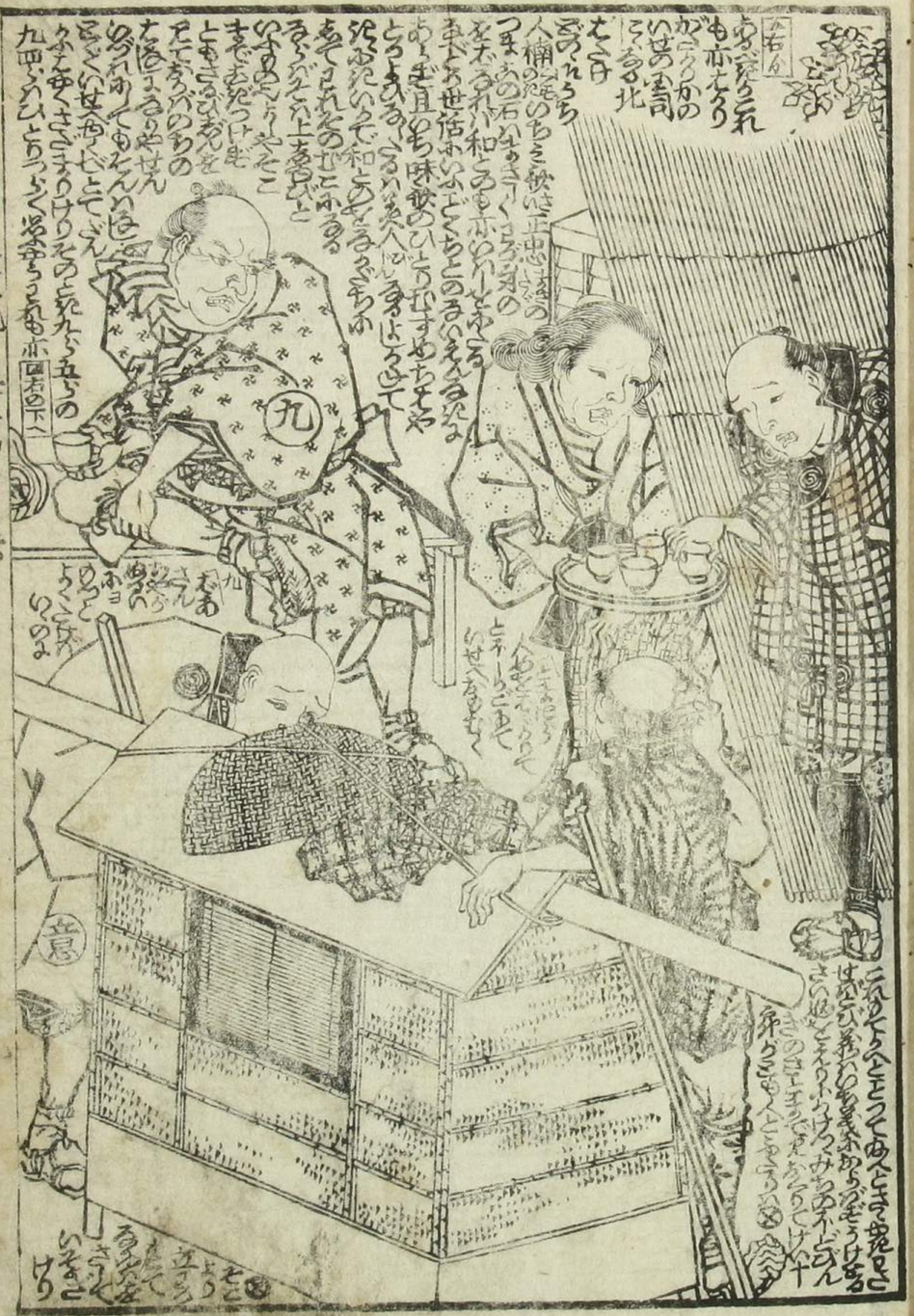
淡路嶋
施恩吉
施恩吉が
女兄

梅


潘
潮

九
武

弐
湧



遠州流 千松庵一樹先生撰
秘傳入 **挿花初學** 全四巻
春艸庵一州先生撰
遠州流 **挿花柳之緑** 全三巻
千松庵一樹先生撰

大日本國之全圖 彩色 大日本 六十餘州一覧 一枚摺
常盤百人一首大全 中本全冊 出来
西鹿王百人一首 小本 全一冊
百人一首本 中本小本 數多出来
諸往来本 大中小本 數多出来
武者繪本代記 全三冊全冊數 新入摺物袋入

馬琴作
國貞画

上帙
下

艾神明智
泉南新板

新編 金瓶梅第四集 巻之弐

天保七年丙申春嗣出

國貞画

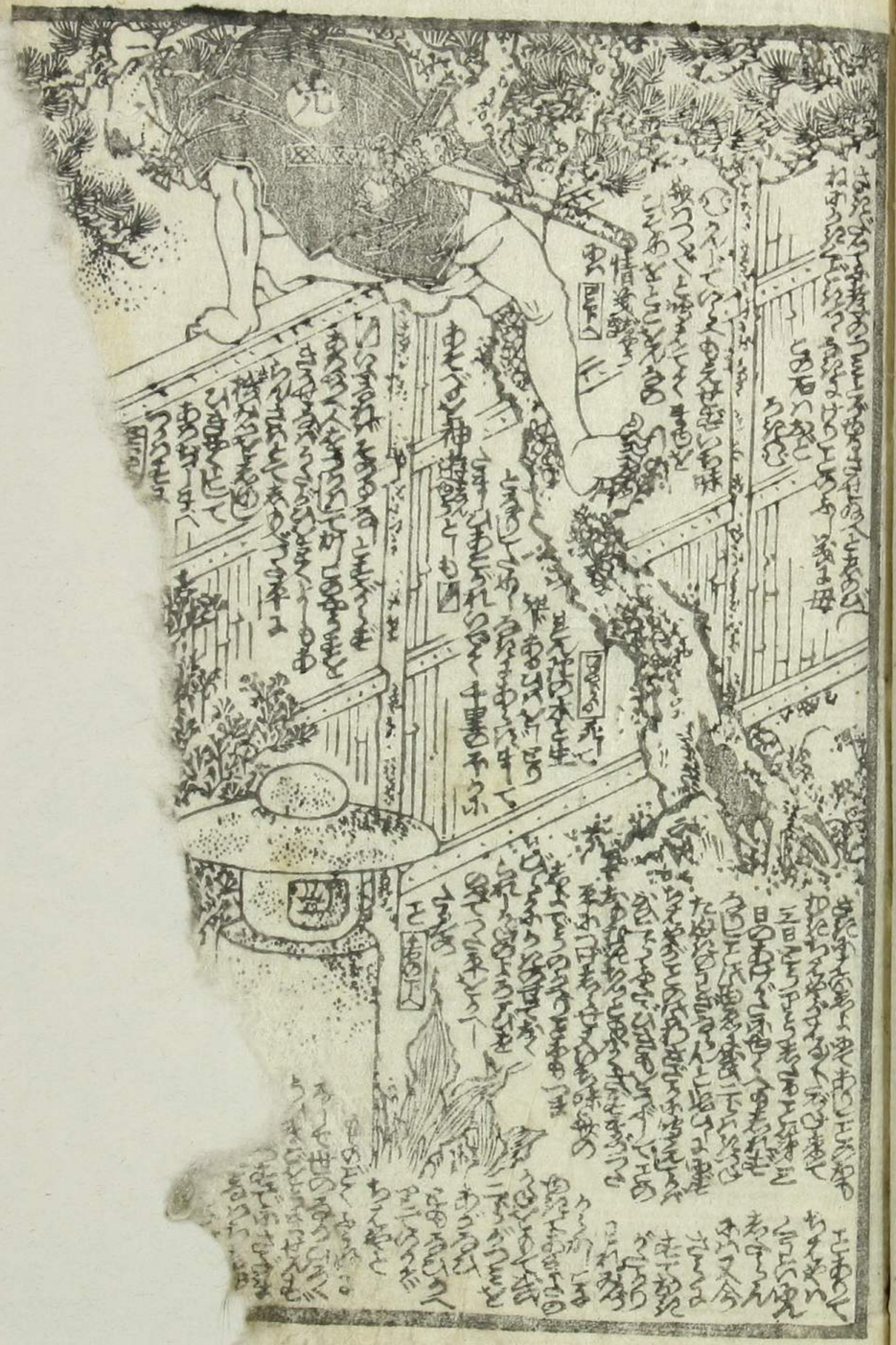
馬琴作

甘泉堂精刊

金瓶梅第四集

楠

石


九

楠

九
十

石
実

実

九
古

左の上の
立意
九

前
苔

新編金瓶梅　第四集　曲亭馬琴作　上帙下帙　香蝶樓國貞画

金毘羅船利生纜　第九編　曲亭馬琴作　第十編　一勇齋國芳画

風俗伊勢物語　三編四編　東里山人作　五雲亭貞秀画

昔模様娘評判記　全六冊　山東庵京山作　香蝶樓國貞画

勝角力二代顔觸　式亭小三馬作　香蝶樓國貞画　全六冊

甘呑太平記白石噺　四編　山東京山作　五雲亭貞秀画

せんねんもの　美艶仙女香　一包　京橋南傳馬町三丁目西がわ　江戸芝神明前三嶋町中程　地本問屋　和泉屋市兵衛版

くろもり　黒油美玄香　おうぎ　坂本氏製

馬琴作
國貞画

奉加帳

下
上

新編金龍梅

毎集四冊

毎集八冊
精刊續出

江戸芝神明前三嶋町
甘泉堂和泉屋市兵衛

唐

苦

節
補
葛

南
石
実
夜

午
申
鳥

和漢駿足 繪本高麗獄 北尾重政筆 名馬盡 極彩色

花鳥寫真圖會 同画 極彩色

繪本ぬぢ袴 柳川筆 極彩色 初編

漬物早指南 八百治主人著 初編全一冊

餅菓子手製集 後編

手造酒法

女手中祝事始 小本 全一冊

女用文艶詞

女今川千代友鶴

雛形小倉百人一首 極彩色 各八

源氏かるた 極彩色 各八

同雛かるた 各八

書肆 甘泉堂藏板

新編金瓶梅第四集

書肆 嘉泉堂板

青草のかぶと

花ども四遍

黄金の靴

梅の花

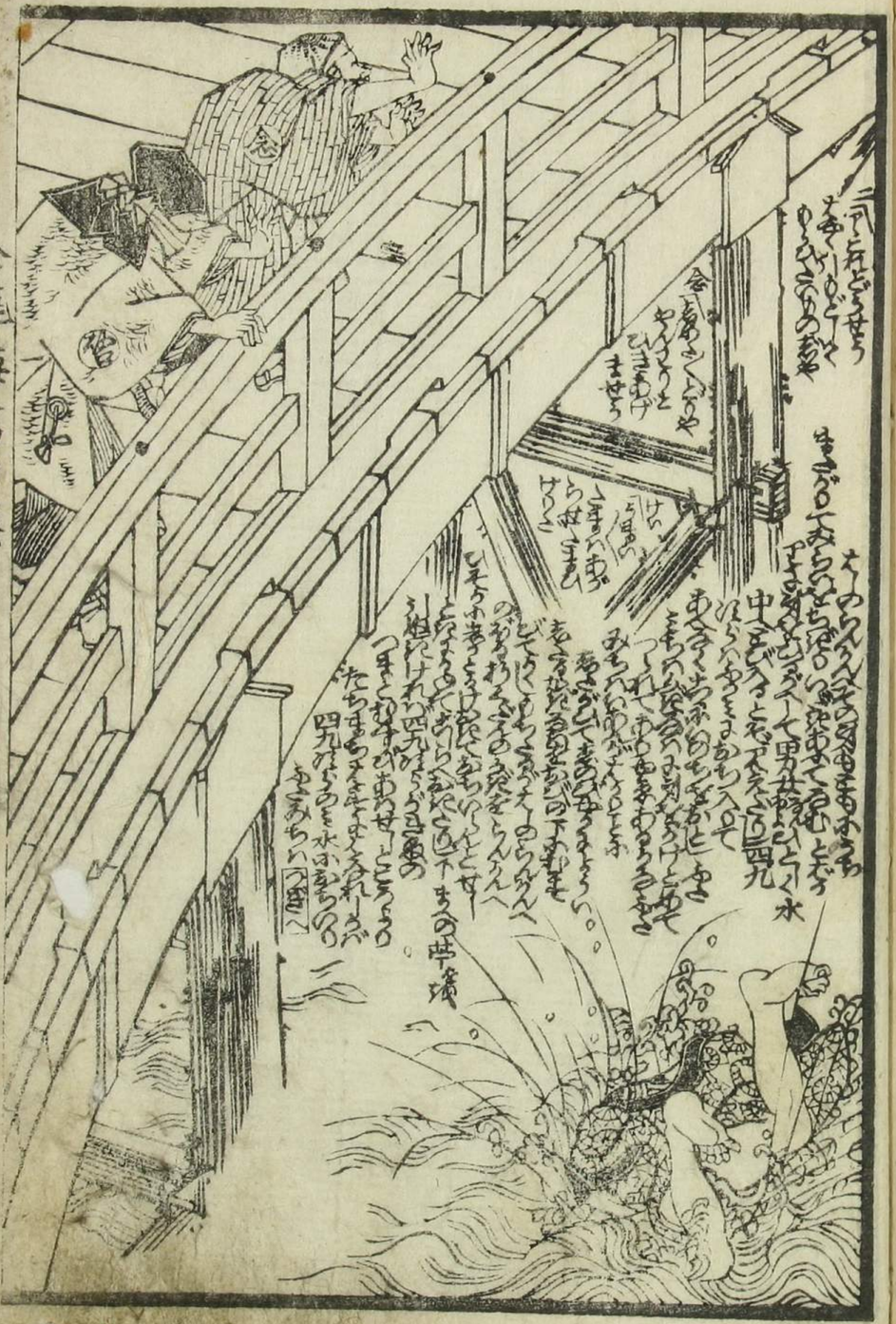
娯楽

馬琴作
國貞画

第四集之四

甘泉堂精刊

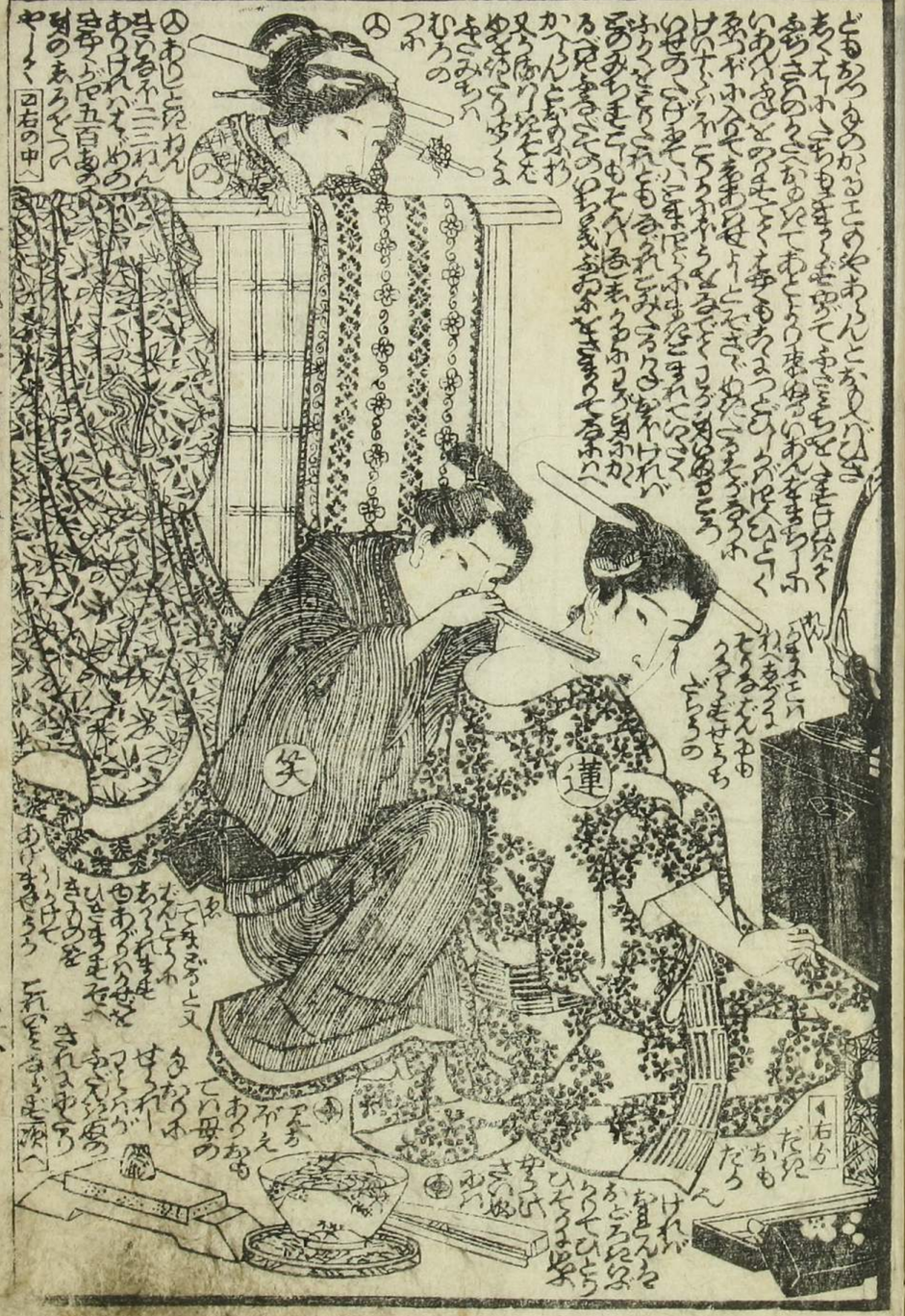
和合感応丸



（右の上の方）

（右の中）

（右へ）



（右の中）

書肆甘泉堂藏版略目録

新編金瓶梅 五編 曲亭馬琴作 六編 香蝶樓國貞画

金毘羅船利生纜 九編 曲亭馬琴作 八冊 歌川國芳画

裏表忠臣藏 波兩庵白猿作 五渡亭國貞画 三篇揃

春榮百人一首大全 大本一冊

常盤百人一首 中本一冊

麗玉百人一首 小本一冊

御かやの葉わらん 美艶仙女香 坂本氏製

風俗伊勢物語 東里山人作 六篇出來 歌川貞秀画

源氏繪盡 溪齋英泉画 中本一冊

書物地本問屋 芝神明前 三嶋町 甘泉堂和泉屋市兵衛